



令和2年9月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

## 県民の日イベント「親子水産教室」を開催

8月19日に県民の日イベント「親子水産教室」を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、親子5組限定の小規模での開催としました。午前中は会場前の海岸で磯観察、午後は施設見学というスケジュールで、磯観察ではどの親子も熱心に生物を探したり、見つけた生物の名前を調べたりと興味を持って取り組んでいました。また、施設見学では実験室で飼育している生物を見たり餌やり体験をするなど、当場の業務内容等について理解を深めていただけたかと思います。

イベント後のアンケートでは「良いイベントだった」「また参加したい」との評価をいただきましたので、来年以降も引き続き親子水産教室を開催したいと思います。

解説：県民の日イベントは、県民の日(8月21日)にちなんで、静岡県を身近に感じる機会になるイベントが県内各地で行われている。



←  
磯観察の様子



→  
施設見学の様子

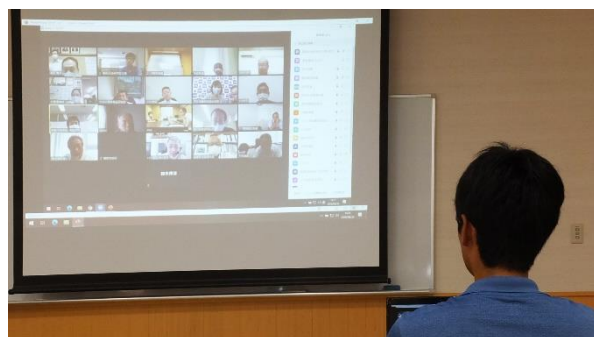
## 伊豆東岸定置網の下半期漁海況予測

伊豆東岸定置網の令和2年下半期(7~12月)の漁海況を神奈川県水産技術センターと共同で予測しました。主要魚種の来遊量はいずれも好転する可能性は低く(下表)、前年並みと考えられます。ただし、上半期のじんだ(マアジ小型当歳魚)の漁獲量が前年を上回ったことから、下半期のマアジ来遊量は前年を上回ると予測しました。また、黒潮は大蛇行流路が継続する見通しであり、解消の兆候は見られません。

海況	黒潮は期間を通してA型で推移する。 沿岸水温は「前年並み」~「高め」で推移する。
マアジ	来遊量は前年を上回るが低調。魚体は尾叉長16~18cm。
マサバ	来遊量はゴマサバに混じる程度。魚体は尾叉長30cm前後。
ゴマサバ	来遊量は前年を上回る。魚体は尾叉長30cm以上。
マイワシ	来遊量は前年を下回る。魚体は被鱗体長10~15cm。
カタクチワシ	来遊量は前年並み。魚体は被鱗体長9~11cm
ブリ	来遊量は前年並み。わかし・いなだ銘柄主体。
スルメイカ	来遊量は低調な前年並み。

## ウェブ会議が増えています

新型コロナウイルス終息の兆しが見えない中で、分場が関係する会議ではウェブ会議が増えています。特に7~8月にかけて資源評価や漁海況予測等、全国の関係者が集まるウェブ会議が集中して開催されました。当初はパソコン画面を通しての説明や議論に違和感がありましたが、慣れてくると従来の会議とあまり変わらないと思えてきます。県内の会議でもウェブ会議が増えてきており、これも新しい生活様式の1つになると予想されます。



パソコン画面をスクリーンに映してのウェブ会議

**9月の予定** ●イセエビ漁が解禁になります。今漁期のイセエビ漁況予測を発表します。●9/8に八幡野小学校で水産教室を行います。●9/9,10に山梨県の小学生にウェブ授業を行います。●9/11に下田高校の社会人講話に講師を派遣します●9/24に浜崎小学校が分場を見学します。●引き続きキンメダイの親魚採捕を行います。

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。